



日頃外出できない高齢者のつながりを作る「ふれあい福祉交流会」

**高齢者の孤立化を
楽しみながら防ぐ**
そのひとつとして田口「出水南校区ふれあい福祉交流会」。普段出歩くことができない高齢者を、地域の介護老人保健施設に招いて食事会やダンス観覧などを行います。出水南校区福祉ネットワーク推進協議会をはじめ、校区自治協議会、社会福祉協議会、ボランティア、民生委員などと、地元の介護老人保健施設やささえりあ水前寺が協力して毎年開催。平成25年

で17回を数えます。この日一日は、参加する高齢者は歌ったり、踊ったりと笑顔で過ごすのだそうです。高齢者の孤立を防ぎ、さらに地域参加している意識も生まれるため、参加する高齢者はもちろん、その家族にも喜ばれているイベントです。
**ふれあいの
健康づくりを**
校区では「健康なまちづくり」をキャッチフレーズに、健康づくり推進協議会や町づくり推進委員会が主催して、さまざまな活動を行っています。中でも健康づくり推進協議会は、熱心な活動を続けており、校区内で行事があるごとに健康づくりの啓発を行っています。現在、活動の中心になっっているのが、毎日継続して歩く『15分歩こうプロジェクト』。これは、活動的に暮らせる「健康寿命」を伸ばすために、「15分続けて歩く」体力をつけよう、というものです。15分続けて歩くことができると、買い物な

**縄文時代から続く
稲作の地**
昔から 水が豊かで水稲作りに適していた出水南校区。校区内には水路が多く、縄文時代から稲作をしていた遺跡も出土しています。昭和40年頃から住宅建設が相次ぎ、多くの人が移り住んできました。戸建が多いのが特徴で、現在も地域全体の95%にも及び

ます。近年では総合病院や大型スーパーが立つなど周辺状況は大きく変化しました。出水南校区自治協議会の田口健郎会長は、「小学校を中心として、2つの中学校と高校、特別支援学校を有するこの校区は、子育てがしやすく、治安もいっぴんです。だから、この地域が好きという人が多いんですよ。地域の活動も盛んで絆も強いのが自慢」と語ります。

ふれあいの健康づくりを
校区では「健康なまちづくり」をキャッチフレーズに、健康づくり推進協議会や町づくり推進委員会が主催して、さまざまな活動を行っています。中でも健康づくり推進協議会は、熱心な活動を続けており、校区内で行事があるごとに健康づくりの啓発を行っています。現在、活動の中心になっっているのが、毎日継続して歩く『15分歩こうプロジェクト』。これは、活動的に暮らせる「健康寿命」を伸ばすために、「15分続けて歩く」体力をつけよう、というものです。15分続けて歩くことができると、買い物な

一の井手用水沿いにある「天神の森」。大きなたぶの木に天神が宿るとされ、地域の憩いの場になっている



ふれあいの中から こころと体を健康に！



2年に1度の開催を多くの人が待ちわびる「ふれあい体育祭」。健康づくりの一環として参加する人も多い